

令和3年度
 劇場・音楽堂等機能強化推進事業
 (地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
 成果報告書

団 体 名	公益財団法人としま未来文化財団	
施 設 名	豊島区立舞台芸術交流センター（あうるすぽっと）	
助 成 対 象 活 動 名	普及啓発事業	
内定額(総額)	5,462	(千円)
公 演 事 業	0	(千円)
人材養成事業	0	(千円)
普及啓発事業	5,462	(千円)

(3) 令和3年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	にゅ～盆踊り	8月14日 8月15日※	【講師】コンドルズメンバー 新型コロナウイルス感染症の影響により本公演中止。	目標値	6,000
		あうるすぽっと		実績値	39 ※
2	みんなのシリーズ 能でよむ～漱石と八雲～	10月3日	『夢十夜』より「第一夜」 『吾輩は猫である』鼠の段 『破ら 【出演者】安田登、玉川奈々福 聞き手：木ノ下裕一（ほか	目標値	440
		あうるすぽっと		実績値	248 ※
3	としまおやこ小学校	11月13日～12月5日	【講師】 YORIKO	目標値	256
		あうるすぽっと		実績値	223
4	家庭で楽しむ！絵本読み聞かせワークショップ	中止※	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	目標値	45
		あうるすぽっと		実績値	- ※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

2. 自己評価

(1) 妥当性

自己評価
社会的役割等（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。
<p>1. ミッションに沿った事業運営</p> <p>下記のミッションに沿い事業運営をしましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で申請 4 事業中、実施は 3 事業（うち計画通り実施1、規模縮小2）、1事業は中止となりました。</p> <p>また、各事業をミッションに基づいた3つのビジョンに沿って整理しました。</p> <p>(1) ミッション: 多くの劇場が集積する「演劇の街・池袋」の拠点として機能し、芸術文化を通して多様な人々が集い交流する「みんなの劇場」として、活力に満ちた豊かな地域社会の実現を目指す</p> <p>(2) ビジョン:</p> <p>『いどむ』舞台芸術作品の創造・発信を通じ 豊島区の発展と地域の活性化に寄与します。</p> <p>＝すぐれた作品を創造・発信し続けること</p> <p>事業名→『能で読む～漱石と八雲』</p> <p>『つなぐ』地域社会の文化芸術及びコミュニティ活動に地域劇場として貢献します。</p> <p>＝地域で働き、暮らす人々のニーズ(鑑賞や発表)に応える「地域の公立劇場」であること</p> <p>＝地域住民の誇りであり拠り所であること</p> <p>事業名→『にゅ～盆踊り』</p> <p>『ひらく』多様な人々の交流や活性化を促進し社会的価値を醸成する</p> <p>＝交流と多文化共生を推進し、社会的に機能する場であること</p> <p>事業名→『としまおやこ小学校』</p>
助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。
<p>1. 文化的意義</p> <p>コロナ禍で制約のある中、安全に実施できる方法を模索し安全な方法を区内他施設等と共有しながら事業を実施しました。</p> <p>2. 社会的意義</p> <p>障がいの有無、経済格差を越えて多くの方々が鑑賞できるスキームを構築し、継続事業として展開しています。</p> <p>3. 経済的意義</p> <p>助成金を得ることにより、アクセシビリティの強化、チケット料金の低減が可能となり「誰ひとり取り残さない」というSDGsの理念に直結する持続可能な実施体制を構築しています。</p> <p>4. 青少年の育成、障がい者等への取組内容</p> <p>特に「能でよむ」は公演自体に手話を取り入れるなどアクセシビリティ充実を図り、字幕タブレットを使用した観劇サポート付き公演を実施するなど障がい者等への取組重点課題として取り組んでいます。</p> <p>5. 地域住民の鑑賞活動及び文化芸術活動の拡大に資する取組状況</p> <p>豊島区民先行・割引を実施し地域住民を強く意識したチケット販売を行っています。</p>

(2) 有効性

自己評価

目標を達成したか。

目標・指標設定の考え方→劇場のビジョン・ミッションに沿って設定。目標達成度は以下の通りです。

1. 目標と成果

(1)いろいろな才能、期待、意欲を持つ様々な人が集まり、集まった人々が交感と協調を重ね、相互に関係する出会いを促す場を創出する。

(2)誰でも参加できるプログラム、子ども、子育て世代など特定の世代を対象としたプログラム、参加することで達成されるもの、参加しさらに発展させる、さらにそれを発表体験するものなど、きめの細かい多彩なプログラムを展開する。

4 事業中、計画通りに実施できた事業は 2 事業、1 事業は大幅に規模縮小、1 事業は中止という現状となり、『にゅ～盆踊り』でミッションとしていた(1)の目標を達成することはできませんでした。しかし、障がいのある方でも参加できる『能で読む～漱石と八雲』や、(2)の子ども、子育て世代など特定の世代を対象としたプログラム、参加することで達成されるもの、参加しさらに発展させる、さらにそれを発表体験する事業として『としまおやこ小学校』は予定通り実施することができました。

2. 主な指標と成果

(1)日本の伝統芸能に触れる機会を提供する事業実施について事業全体に対する割合を増加させる。

【2017 年度】21%【2018 年度】32%【2019 年度】40%【2020 年度】35%【2021 年度】自主企画公演 11 公演(開催事業)計 51 回中 24 回 47%で、近 4 年の実績を上回ることができました。

(2)自主企画公演のキャパシティに対するチケット販売率を増加させる。

【2017 年度】66%【2018 年度】80%【2019 年度】85%【2020 年度】70%【2021 年度】70%(フルキャパ 12210 席/販売数 7,754 席/販売率 63.5%)緊急事態宣言時、まん延防止重点措置時に 50%の収容率に設定したこともあり 今年度、販売率増加は未達成となりました。

(3) 効率性

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

劇場として年間を通して事業を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業内容、事業期間ともに計画通りに進行できませんでした。

番号	事業名	実施日程	詳細	入場者・参加者数	
				目標値	実績値
1	にゅ～盆踊り	8月14日 8月15日	ワークショップを5日間、本大会1日を予定していたが、ワークショップ2日のみ開催。	目標値	6,000
				実績値	39
2	みんなのシリーズ 能でよむ～漱石と八雲～	10月3日	収容率は50%に制限しましたが、予定通り実施。	目標値	440
				実績値	248
3	としまおやこ小学校	11月13日～12月5日	予定通り実施。	目標値	256
				実績値	223
4	家庭で楽しむ！絵本読み聞かせワークショップ	中止※	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	目標値	45
				実績値	-

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

(1)4年間の推移(劇場主催事業全体)

		事業費(千円)
H29	2017年度	63,431
H30	2018年度	76,837
H31	2019年度	56,328
R2	2020年度	105,687
R3	2021年度	73,123

(2)2021年度の予算・決算(助成対象事業のみ)

●支出	予算	決算	差額	●収入	予算	決算	差額
普及啓発	12,194,000	6,927,255	5,266,745	普及啓発	12,194,000	6,927,255	5,266,745

効率的経営を意識し、事業費抑制を意識しながらも芸術的成果を上げるための努力を継続しています。

助成対象事業においては、未実施または規模縮小事業があったため、支出・収入とも減少しています。

(4) 創造性

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

あうるすぽっとの機能として、創造・発信型劇場として公演事業、人材養成事業、普及啓発事業を独自企画で実施、前述した劇場のミッション「みんなの劇場、あうるすぽっと」を上記 3 つの柱を連携させながら事業展開し、機能性を高めています。

普及啓発事業の企画内容の高さ、特色

地域の方々が観客として招かれる立場から、地域の住民として他地域の方々を招く立場になる、そのためには劇場をもっと知ってもらうことが必要という観点から、あうるすぽっとスタッフ自身が地域住民と触れ合うことでより身近な劇場することを実践しています。また、文化施設で働くスタッフが障害を持つ方をお迎えする時のサポートを十分に対応できることを目標に掲げ、座学+実践講座を実施しており、その後実践の機会となる「能でよむ～漱石と八雲～」を開催。視覚障害者のための音声ガイド、聴覚障害者のための字幕タブレット、手話通訳を取り入れ実施し、障害の有無に関わらず楽しめるよう、障がい特性に応じた環境整備を推進し、鑑賞機会を創出する取り組みとなりました。

また、本企画は劇場と同じ建物内に区立図書館があるという立地を生かしながら文学ファンなど多様な層の鑑賞を促すことで新たな劇場ファンの創出に貢献しています。

2020～2021 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画通りに実施するはできませんでしたが、今後も特に普及啓発には力点を置き、区民に開かれた事業展開を目指します。

自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

1. ステークホルダーや地域のニーズ

豊島区の文化政策を推進するべく企画立案を実施しています。そのことによりステークホルダーや地域のニーズに応える事業となります。特に『としまおやこ小学校』は親子 18 組募集したところ、126 組の応募があり、ニーズの高さが伺えました。参加者からも、「週末の落ち着いた時間に、親子で様々な体験ができるのはとてもよかったです。4 回を通してどの回も内容が充実していて子供たちも刺激になっている様子です。回数をもっと多くてもよいなと思います。ぜひ、友人・知人へもお勧めしたいです。」「子どもも大人も楽しめるとても素敵な企画でした。年 1 回だけでなく 2 回くらい開催してほしいです。」というお声がありました。

2. 地域の実演芸術の振興

『能でよむ』では「能」は以前より興味ありましたが、今一つ敷居が高く感じていました。今回の公演では馴染みのある漱石八雲の作品が取り上げられることで非常に分かりやすく能の魅力を感じられました。また逆に能で表現されることで漱石八雲の作品がより深く理解でき、また楽しむことができました。今後もこのような企画を続けていただきたいと思います。」というコメントをいただくなど、古典芸能をより身近に感じていただくきっかけになりました。

年間 20 日～30 日程度「区民シリーズ」期間を設定し、豊島区民団体が劇場を優先的に利用できるスキームを整備しています。

3. 地域の文化芸術の発展

豊島区民に向けた多世代に向けたワークショップの実施、無料で誰でもが参加できるイベント（にゅ～盆踊りなど）を毎年継続的に実施しています。にゅ～盆踊りの本公演は今年度中止となりました。

(5) 持続性

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

公共ホールとしてミッションを実現するために持続的に組織運営を進めるよう以下の取組を実践しています。

1. 人材面

(1)人事戦略(令和3年度時点)

ア. 人事異動のローテーション:内部職員が常に上位のポジションにつけるよう研修及び昇級試験(=採用試験)に挑戦するように指導しており、組織内でのキャリアパスを実践する仕組みとなっています。

イ. 経営に関わる人材の育成状況:劇場職員の誰もが経営に関われるよう指導し、予算管理、ファンドレイズなど劇場経営の仕組みを共有しています。

ウ. 事業運営に関わる人材の育成:適材適所を見極め、年ごとに育成職員を定め特に集中的に経営または事業運営を指導しています。

エ. 平均勤続年数:5年程度

オ. 正規雇用率:職員11名はすべて(公財)としま未来文化財団所属、うち2名無期雇用転換済(定年65歳)他の9名は5年未満で現状は有期=非正規雇用です。便宜上、正規雇用率は現状2名18%となっています。

カ. ボランティアの有無:ボランティア組織はなく、インターン研修生が期間限定で事業に関わっています。

2. 財務面

毎年助成金を確保、チケット収益も2018年度は前年比3倍、地方公演収益も加わり収益基盤は安定しています。

事業収入・助成金収入の推移

●事業収入の推移

		チケット	地方公演	助成金	その他	合計
H29	2017	6,741,000	4,760,000	31,218,000	1,082,000	43,801,000
H30	2018	18,547,500	19,221,000	23,122,000	826,000	61,716,500
H31	2019	16,186,000	4,635,000	22,650,000	741,000	44,212,000
R2	2020	14,721,000	5,838,000	39,926,000	1,043,000	61,528,000
R3	2021	20,873,000	13,057,000	39,894,000	1,304,000	75,128,000

3. ステークホルダーとのコミュニケーションの方法・頻度

所管の豊島区文化商工部文化デザイン課とは日常的に報告・連絡・相談を実施の上、定期的な会議を実施しています。また、地域NPO、企業とは事業単位でオンラインMTGなどを行っています。

4. 各方面とのネットワーク

各公共ホール、教育機関や地域企業、NPOなどと連携しています。

5. 施設面

(1)建物や設備の回収や修繕、日常的な管理状況、投資状況

年間20日程度を保守点検日とし複数の専門委託業者とともに修繕実施、舞台管理委託会社が日常的に舞台機構の管理を実施しています。

(2)個別施設計画策定の有無

有・所管の豊島区文化商工部文化デザイン課と施設計画策定中です。